

<学校教育目標>

さわやかに、かしこく、たくましく未来を拓く見初っ子の育成

自分たちで決めたチャレンジ目標に向かって

校長 川本 朋子

新年度がスタートし、1ヶ月になろうとしています。1年生も少しずつ学校生活に慣れて、明るい笑顔を見せています。他の学年は、一つ学年が上がったという自覚をもち、担任や仲間とともに新たなチャレンジに取り組んでいます。

さて、本校では今年度も上記のとおり学校教育目標を掲げ、年間を通じて家庭や地域と連携を図りながら、取組を進めてまいります。また、4月18日(月)の代表委員会にてチャレンジ目標の見直しをしました。児童が主体的に話し合う中で決めたチャレンジ目標に向かって、この1年間、しっかりと取り組んでいきたいと思えます。ご家庭や地域での児童への励ましをよろしくお願いいたします。

【令和4年度チャレンジ目標】

○勇気を出して、伝わる声であいさつをしよう。

新型コロナの影響で、大きな声を出す場面も制限され、時にはあいさつですら遠慮しなければならぬこともありました。その間、あいさつを交わす良さを感じる事が少しずつ失われたような気がしています。勇気を出して、相手に言葉も気持ちも伝わるようにあいさつができるとよいと思えます。児童の勇気をぜひ応援してあげてください。

○だまってすみずみまでそうじをしよう。

「だまって」「すみずみまで」掃除をすることは、とても難しいことです。汚れたところをきれいにするはずの掃除であるにもかかわらず、汚れたところをそのままにしてしまいがちです。集中してすみずみまできれいにするという態度が身につくとよいですね。

○ふわふわ言葉を増やそう

どんな言葉を掛ければ、相手を「ふわふわな(温かな)気持ち」にすることができるかを考える良いきっかけになりそうです。自分や相手の心の中に、または、一緒に過ごす教室の中に、ぜひ「ふわふわ言葉を増やす」ことができるとよいですね。

(お知らせ) 学校図書館司書として4月にお勤めいただいた常田瑛子先生に代わり、5月から河地直美先生にお願いすることになりました。常田先生は今後、岬小でお勤めになります。お世話になりました。



見初小HP

令和4年度「めざす児童像」について

- 【さわやかな子】 自分のよさを知り、喜びや悲しみを共感できる相手の身になって考え、行動できる
- 【かしこい子】 かかわりながら学びを実感する主体的に学び続けることができる
- 【たくましい子】 活力、主体性、安全意識をもつ粘り強く課題解決に取り組むことができる

